

「未来の技能者育成事業」体験授業
実施報告書

記入例

報告日 2024年12月25日
(代表) 報告者 ◇◇◇◇

案件名 (職種)		2024-G-**-** (寝具製作)			学校名	△△市立△△小学校	
体験授業 (職業講話・製作実演・体験教室) 実績							
月	日	時間	受講者人数			指導者人数	特記事項 (必要に応じ記入)
			児童生徒	教員	保護者(参観)		
12	20	9:50 ~ 12:05	16	1	1		
体験授業 (職業講話・製作実演・体験活動) の概要							
<p>職業講話 ・導入として、普段使用している布団について児童への質問 ・睡眠の重要性 → 寝具の重要性 ・今日の体験活動で使用する綿の種類や混綿工程について</p> <p>体験活動 (中綿の成型、袋への入れ込み、縫込みと仕上げ等の体験) ・短いパートに分けて、作業工程の説明 → 実演 → 体験 という流れを繰り返し、分かりやすく指示して下さったことで、完成させることができた。 ・綿を扱うことはやってみると難しく、職人さんの技術の高さを実感していた。 ・その他、体験活動の中で、折に触れ「寝具製作」の仕事の特徴を的確に説明</p> <p>質疑応答とまとめ ・全員、完成した座布団に座って、質疑応答とまとめを行った。 ・「今までで一番苦勞した仕事/この仕事をしていて感動することは何か」「なぜこの職業に就こうと思ったのか」などの質問があった。まとめとして、職業を決定する心構えやものづくりの職業の魅力を熱く語られた。</p>							
体験授業 (職業講話・製作実演・体験活動) の感想や教育活動に役立ったこと							
<ul style="list-style-type: none"> ・人生の三分の一は睡眠時間であり、睡眠の重要性＝寝具の重要性というお話がとても印象に残った。普段寝具について意識が向いていない子どもたちも、興味をもってお話を聞いていた。 ・綿の扱いは思った以上に難しく、悪戦苦闘したが、分かりやすい説明とサポートをしていただいたおかげで、どの子も座布団を完成させることができ、達成感を味わうことができた。 ・見本で作ってくださるものと自分の作ったものを比べ、その技術の高さに憧れをいただいていた。 ・質疑応答では、「職人を志した時に、うまくいかなかった時の逃げ道を断って臨んだ」というお話から、並々ならぬ決意を感じた。これから進路選択をする際、また普段の学習等においても、「どのようになりたいか」という目標やそれに向かう強い意志など、「自分」の思いが重要であることを子どもたちは感じ取ったと思われる。 							
実施風景 (写真等を4～5枚貼付け)							
							
<p>※ここに貼り付ける写真は当事業のHPに掲載することがあります。児童生徒の後ろ姿等、本人が特定できない写真、またはHP掲載の許諾が取れている児童生徒の写真にしてください。</p>							
教育職の視点で、本日の講義の改善点やお気づきの点							
<p>分かりやすく、また子どもたちの興味を引き付けるお話で、最後まで集中して取り組むことができました。話のテンポや内容の選び方は、教員としても大変参考になるものでした。また、針の数が1本でも足りなければ、布団に紛れ込んでいる可能性も視野に、見つかるまで作業は進めないということを強調されました。私たちも作業学習をさせるときに安全に作業することは伝えますが、そこまで厳格に行わなければ安全性を保てないと、自分の指導を見直すきっかけになりました。時間や準備の都合上、先生の普段の作業風景や作品等を見ることまではできませんでしたが、見れば子どもたちはさらにもものづくりに興味をもったと思います。</p>							
アンケート:							
1) この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか(いずれか1つ)			2) 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください。				
<input checked="" type="radio"/> ①大変よく伝わった <input type="radio"/> ②ある程度伝わった <input type="radio"/> ③あまり伝わらなかった <input type="radio"/> ④全く伝わらなかった			教員が学校以外の職業等について知っていることは、あまり多くありません。専門の方にお話を聞いたり、実際にその仕事風景を見たりする機会は、子どもたちが技能者を目指すに当たって大変重要だと考えます。				